

市長（作野広昭君）

私が市長になったのが平成 22 年の年末であります。それで、この説明を受けました。そのときにそういう観光情報センター、スペース自体がなかったのです。本当はもっと早く数年前に小川さんが質問して、松任駅の構想段階でしていただければよかったのだと悔やまれてなりません、私が市長になったときには一切スペースがございませんでした。

それで、1 階のところに障害者の休憩施設があります。あれで 6 畳から 8 畳ぐらいあります。それと 1 階に市民が休憩する待合のスペースがあります。最初あの場所が全て倉庫になっていました。そのときにこの施設自体、拡張したり、そういうことができるのかなという形で J R に問い合わせしたら、できないということでした。じゃ、せめてある場所を何かに変更することができるのか。これも大分協議しまして、工事の途中だったのですけれども、とめさせまして協議をしまして、その部分が市民の休憩施設になりました。もう一方の倉庫も障害者の休憩施設にして、あの辺一帯を障害者に掃除をしていただいているところでもありますけれども、そういう状況だったのです。

それで、もう少し早くわかれば、計画段階でわかれば、上部の 2 階の部分でスペースがとれていれば、そういうものが設置できたんだろうと思って、本当に残念でなりません。

それ以降、実はいろいろと検討を重ねております。その中で私のほうから担当課に指示を出してあるのが、千代女の俳句館のところと、最近ありますテレビ画面でボタンを押すとそこにつながってダイレクトに何か案内できないかとか、そんなことを実は考えておるのですけれども、これもどれだけ需要があるのか見たいということでもありますので、もう少しここは考えさせていただきたいと思っております。

本当にもう 5 年も早く質問していただければありがたかったかなと、こんなふうに思います。

以上です。